

避難者と支援者による



2016

ふれあい フェスティバル 報告書



主催：広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会



あいさつ

東日本大震災から6年が経ちましたが、避難生活を余儀なくされている方々は全国で約14万人（復興庁：平成28年10月）となっています。そのうち都内に広域避難されている方々は6,446名（東京都：平成28年10月）。広域避難では最も多く避難されているのが東京都となっています。

平成29年3月には区域外避難者等の仮設住宅の供与が終了になり、避難者を取り巻く課題は大きく動いています。こうしたなか、避難者同士だけでなく避難者と支援者がつながり、避難者支援の取組みを進めていく必要が出てきています。

昨年度、木場公園で実施した第1回「避難者と支援者によるふれあいフェスティバル」では、多くの避難者と支援者が来場されましたが、第2回目となる今回は、都内だけでなく、他県の方にも声をかけ、埼玉県、千葉県、山梨県、神奈川県の方々に参加頂くことができました。

開催にあたり、本当に多くの皆様からご支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成29年3月

広域避難者支援連絡会 in 東京
広域避難者交流会 実行委員会

概要

タイトル 避難者と支援者による2016ふれあいフェスティバル

日時 2016年10月23日（日）10時30分～15時30分

場所 都立光が丘公園（〒179-0072 東京都練馬区光が丘4-1-1）

参加者 565名（うち、避難者247名）

※避難者への周知は、各当事者団体を通しての呼びかけとともに東京都都内避難者支援課が実施する「定期便」での発送や各区市町村行政、支援団体からの情報提供等により行いました。また、他県については、県域の支援団体から個別の避難者に情報提供頂きました。

主催 広域避難者支援連絡会 in 東京 広域避難者交流会実行委員会

（実行委員メンバー）青空会、足立区新田ふるさと会、コスモス会、鷺宮都営住宅自治会、東雲の会、東北の絆 サロン FMI 会、NPO 法人とみおか子ども未来ネットワーク、福島県被災者同行会、町屋6丁目ミニサロン、みちのく・まほろば会、むさしのスマイル、かながわ東北ふるさと・つなぐ会、双葉町埼玉自治会、広域避難者支援連絡会 in 東京（広域避難者支援連絡会 in 東京 参加団体）荒川区社会福祉協議会、いたばし総合ボランティアセンター、金光教首都圏災害ボランティア支援機構、さわやか福祉財団、災害復興まちづくり支援機構、全労済、中央労働金庫、東京足湯プロジェクト、東京災害ボランティアネットワーク、東京都生活協同組合連合会、東京ボランティア・市民活動センター、東京労働者福祉協議会、連合東京

実行委員長 松崎真希子（コスモス会）

副実行委員長 木幡四郎（東北の絆 サロン FMI 会）、山田栄子（青空会）、三澤宏造（東雲の会）

後援 福島県、宮城県、岩手県、東京都、練馬区、板橋区

開会式

- (1) 実行委員長 挨拶（コスモス会 松崎真希子）
- (2) 各首長からのメッセージ
福島県知事 内堀雅雄氏からのメッセージ（代読：福島県避難地域復興局避難者支援課課長 松本雅昭氏）
宮城県知事 村井嘉浩氏からのメッセージ（代読：宮城県東京事務所主幹 和久一隆氏）
岩手県知事 達増拓也氏からのメッセージ（代読：広域避難者交流会 実行委員会）
練馬区からの挨拶（練馬区危機管理室危機管理課長 生方宏昌氏）
板橋区長 坂本健氏からのメッセージ（代読：板橋区危機管理室防災危機管理課長 川口隆尋氏）
- (3) 実行委員紹介

ステージ出演

ステージでは当事者団体1つ、支援団体3つ、当事者と支援者で作る団体2つの合計6つの出演がありました。

No	出演団体名	出演内容
1	金光教静岡教会 D&G ハンドベルリンガーズ	ハンドベル演奏
2	みちのくまほろば会 ウクレレ・フェローバンド	ウクレレの演奏（2回実施）
3	コスモス会	合唱
4	ぞ升本	バンド演奏
5	えっちゃんとおきら	懐メロ演歌
6	双葉町埼玉自治会	ふたば音頭

なお、開会式・閉会式含め、ステージの司会は、避難当事者団体である東北の絆 サロン FMI 会の木幡四郎さんと広域避難者支援連絡会 in 東京（中央労働金庫）の岩村真奈美が行いました。



実行委員長の挨拶



ハンドベル演奏の様子

ブース出展

本イベントでは当事者団体7、支援団体22、その他本部など併せて27のブース出展があり、団体紹介や食事の提供、交流スペース、小物作り体験などさまざまな出し物がありました。

※1ブースに複数の団体が出展している場合があるため合計は合いません。

No	出展団体名	出展内容	No	出展団体名	出展内容
1	双葉町埼玉自治会	柏餅、野菜、小物販売	15	スノードロップ	子ども・ママ向けコーナー
2	渡和の会	岩手物産販売	16	板橋区社会福祉協議会	缶バッチ作り体験
3	東北復興推進協会	福島物産販売	17	コスモス会/いたばし総合ボランティアセンター/足立区新田ふるさと会	綿菓子
4	真如苑サーブ (SeRV)	リゾット	18	東京足湯プロジェクト	足湯
5	東京しごとセンター	就職相談	19	鷺宮都営住宅自治会	ハンドマッサージ
6	東雲の会 / (慶應義塾大学) ひよこ足湯隊	健康相談	20	練馬区社会福祉協議会	ネリーグッズ・大堀相馬焼の販売
7	避難の協同センター	生活よろず相談	21	宮城県 東京事務所	宮城県相談ブース
8	災害復興まちづくり支援機構	専門家何でも相談	22	福島県 避難者支援課	福島県出張相談
9	生活協同組合パルシステム東京	味噌田楽 (こんにゃく)	23	東京都都内避難者支援課	都内避難者相談拠点出張相談
10	生活協同組合コープみらい	ミニホットケーキ	24	フォトボイス・プロジェクト	フォトボイス展示
11	東都生活協同組合	フランクフルト	25	広域避難者交流会実行委員会	避難者支援展示ブース
12	生活クラブ生活協同組合・東京	豚汁	26	本部テント	受付等
13	金光教首都圏災害ボランティア支援機構	子どもコーナー	27	東京労働者福祉協議会	ふれあいテント
14	NPO 法人こどもプロジェクト	ママ Café ネットワーク			



各生協のブースではフランクフルトや豚汁、ミニホットケーキ、味噌田楽などの食事が提供されました。



当事者団体と支援団体が一緒にブースを設置するところも幾つか見られました。(写真は、コスモス会・足立区新田ふるさと会・いたばし総合ボランティアセンターのブース)

実行委員や参加者の皆さんからの声

避難者と支援者によるふれあいフェスティバル

実行委員長を務めて

コスモス会 松崎真希子

ふれあいフェスティバル当日、天気にも恵まれ汗ばむ程の1日となりました。

今年で2回目になるフェスティバルでしたが、昨年の反省も踏まえ、より多くみなさんが、いろいろな方と交流していただける様、また日頃支援していただいているみなさんとのつながりを深められる

様にと、私達、実行委員もあれこれと案を出し合い会議を重ねて来ました。

おかげで当日も多く的一般の方々にも参加していただき、各ブースとも売り切れが続出するなど予想以上の盛況ぶりでした。

改めて、多くの方々に支援していただいている事を再確認した1日でした。

本当にありがとうございました。

第2回ふれあいフェスティバルに参加して

成増団地自治会(コスモス会)溝上加代子

第2回目のふれあいフェスティバルは、10月に光が丘公園で行われました。

光が丘公園の一部が板橋区という事から、コスモス会の松崎さんが実行委員長の大役を仰せつかりましたので、私も微力ながらいつもより多めにお手伝いさせていただきました。

光が丘公園の会場は一般の方々との距離が近く、通りすがりの方に何をやっているのかと聞かれたり、普通に中に入って来て買物をしている方もいました。

一般の方にこのような避難者の活動を知っていただくいい機会になったと思います。

ステージは、歌、踊り、演奏とにぎやかでした。

コスモス会も、今年は、成増団地から近いという事もあり、地元住民にも協力してもらい30名が結集しステージで歌を歌わせていただきました。

ブースでは手作りの作品、野菜などの販売があり、体験コーナーでは子供さんが楽しそうに物作りをし、マッサージや足湯の癒しのコーナーもあり、美味しい物も用意していただき、楽しく充実したフェスティバルでした。

29年3月で自主避難者の居住支援が終了するという不安の中ではありましたが参加して下さった皆様ありがとうございました。

ふれあいフェスティバルに参加して

鷺宮都営住宅自治会 関根仁美

今回もハンドマッサージで参加させていただきました。福島のママさん達がハンドマッサージの講習を受けて 来場者に喜んでいただけるようにと頑張ってくれました。避難者も支援者も関係なくそ

れぞれの方が癒されて、明日に繋がっているような気がしました。スタッフの皆様もありがとうございました。企画の段階から参加させて頂き 本当に良かったです。鷺宮都営住宅自治会全体で 応援しています。

ふれあいフェスティバルに参加して

むさしのスマイル 岡田めぐみ

普段お会いできないとお話ができただことは良かったです。ただ、交流を深めるのは小さなサロンが

多く必要だと思いました。子供たちも沢山の方に遊んで頂き喜んでいました。これからも続けて欲しいと思っています。

ふれあいフェスティバル

足立区新田ふるさと会 田中せつ子

当日は天候に恵まれました。ふるさと会からは参加者が少なかったのですが、久しぶりの出会いがあ

り喜んでいました。今年はブース、ステージをゆっくり見る事ができ良かったです。楽しい一日でした。有りがとうございました。



ふれあいテントは多くの避難者と支援者が交流するスペースになりました。支援団体からお茶やお菓子の提供がありました。



みちのく・まほろば会ウクレレ・フェローバンドによる演奏。避難当事者団体と地域の団体が一緒に演奏を行いました。

ふれあいフェスティバルに参加して

東北の絆 サロン FMI 会 木幡四郎

広域避難者支援連絡会を始め各支援団体のご協力により素晴らしい青空の下での開催となり、感謝いたしております。

14 の実行委員の方の連携プレイがテキパキとした動きでよかったです。

松崎真希子実行委員長のキリッと締まった挨拶に始まり、各県のメッセージを戴き、避難生活を余儀なくされ、慣れない地域での生活をされている方々が少し、気持ちや和んだのではないかと感じておりました。

今回は、フェスティバルの開催の慣れもあり、自分たちの行動もスムーズに行っていたような気がします。

ステージの前テントでは、話が弾み、和気あいあいと話に華が咲き、演奏に耳を傾け口ずさんでおり、金光教のハンドベルで始まり、双葉音頭で避難者と支援者が一体になり、歌、踊り、演奏曲が皆さんに合っていた、ふるさとを思い出し楽しくしていた気がします。

各ブースは、皆さんが一生懸命頑張って居りました。

反省するところは、各ブースの間隔、内容などの調整などが有れば良かったと思います。また、募金ブースは、もっと中央に出し目立つ所に出せば良かったと思います。

お弁当の提供が遅れたためか、他の食べ物ブースに列を作り 1 時間後にはそのブースも完売してしまった、又、整理券を配ったが、その整理券でもお弁当を戴けなかったこと、何の為の食券、整理券なのか、という意見が何件ありました。

本部受付案内の場所、わかりやすく大きな見やすい案内板を出すべきだと思いました。

インタビューでは、皆さんの声をもう少し聴きたかったのですが、時間がなく残念でした、今後は少し回り方を考えるべきだと思いました、皆さんにも大変協力を戴きました。

久しぶりに、お会いした方達の喜ぶ姿が見られ、心温まる思いをし素晴らしい企画、活動ができたこと、とても嬉しく思います。



子ども向けに様々な体験ができるワークショップブースもありました。(写真は、スノードロップのブース)



埼玉の加須市からは、双葉町埼玉自治会の方々がブース出展し、おもちゃや野菜の販売を行いました。都県域を超えた貴重な交流の機会となりました。

ふれあいフェスティバルに参加して

かながわ東北ふるさと・つなぐ会
今里雅之

天候に恵まれ、自然豊かな最高の環境の中で、2016 ふれあいフェスティバルに参加させていただきました。あれから5年半、帰還・移住が進んだせいか避難者が少なかったようでしたが、今回もあれ以来の方々にお会いでき感激する場面もありました。経時と共に生活のパターンは固定化し高齢者はふるさとを懐かしみ友人・知人を求め

語り合う場を求めています。久方ぶりの出会いでも弾み感動と喜びで時を忘れ懐かしく、テント内は大入りの人・人達で更に絆を深めあっていました。

イベントもブースも充実した内容で支援団体の方々、スタッフの皆さんおよび避難者が一体となれた最高のフェスティバルだったと思います。参加者一同笑顔の連続でした。

手伝いもできず皆様のご厚情に深く感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。

ふれあいフェスティバルに参加して

町屋6丁目ミニサロン 井餘田隆也

平成28年10月23日(日)開催当日は、素晴らしい晴天の中、500人以上の人々が参加しました。例年に続き、天候に恵まれ、素晴らしいと感じています。5月から打ち合わせを開始し、行事内容の立案から会場確保交渉等、必要と思われることすべてを支援者と避難者が和気あいあいとした雰囲気の中で、全員で合意し、決めてきました。当日は、計画通りに実施できたこと、大勢の方に参加していただ

くことができたことに、胸がいっぱいになりました。

町屋6丁目ミニサロンからは8名の方が参加することができました。ふれあいフェスティバルは、慣れない土地での外出が消極的になりがちな避難者にとってはふるさとの方と会える絶好の機会であり、貴重な場であります。皆さまの多大なるご支援によって開催できました。あらためてお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。



当日は実行委員会企画で、避難者と支援者のいまの想いを伝える「メッセージボード」が設けられ、多くの方がメッセージを寄せていました。



避難当事者団体がサロン等で作成している物品を販売するブースが設けられ、多くの参加者が足を止め、品を手にとっておられました。

ふれあいフェスティバルに参加して

青空会 山田栄子

お天気に恵まれて、皆がテントの中にすしづめ状態でしたが、今回はステージでのショーが充実しており、当事者団体と支援者が一体となり、ハンドベル、ウクレレの演奏、コスモス合唱隊の合唱、バン

ド演奏、懐メロ演歌、双葉音頭と・・・多才な才能を持った方々により、十分に楽しい一日を過ごすことが出来、又、石巻といわきの交流等もあり、回を重ねる事に、充実したフェスティバルに支援の方々、又、スタッフの方々のご苦労のたまものと感謝致しております、いつも有難うございます。

2016 楽しかったフェスティバル

みちのく・まほろば会 後藤恭子

10月23日、抜けるような快晴 気温22度願ってもないフェスティバル日和。心も弾む思いだ！と言うのも実行委員会の中で最大の課題は雨天対策。気象異変による秋の長雨続きだったから…

9時、西東京郵便局前に豪華な観光バスの迎えを受けて一行40名が車中の人となる。車内は晴天を喜び合っている。若い子供連れの夫婦が乗り遅れて発車。途中運行しながら指示を出してバスに追いつき、全員が揃う、というハプニングがあったが、バスの中は大拍手で向い入れて一体となる。(キャンセルせずに参加してくれたことに)

しばらくして光ヶ丘の街並、整然とした立派なマンションが並び若い街との印象。会場の公園も真中であって市民の憩いの場のようなのだ。

当バスが到着したのは最後らしく、すでに中央テントは満席。仕方なく野天のテーブルを確保する。久し振りに日光浴が出来るねと、負け惜しみで慰め合った。会場では、あちこちで再会を喜ぶ人抱き合う人。ホッとして「ふる里」言葉で語り合う人。昔の絆を取り戻している風景は、微笑ましい。2年目

の祭りでリラックスしているムードが漂っていた。

長い祝辞が続いたが、あまり聞いていない様子。ステージでは各地区の発表があり盛り上がる。

まほろば会も支援者を巻き込んだバンド演奏。会場の人々と共に楽しめる選曲と手話を取り入れての発表。大合唱となった皆さんが喜んでくれたようで嬉しかった。フーテンの寅さんが飛び出して会場は更に盛り上がったようだ。

少々残念だったことは、「美味もの」引換券を頂きながら、売り切れで何一つ頂けなかったこと。お弁当のみで終わってしまいました。

それにしてもこれだけ盛大なフェスティバルを開催するにあたり、下支えをして頂きましたボランティアの皆様へ心よりお礼を申し上げます。又各地域の支援者の温かな応援で交流会が実行されて、避難者一同、深く心に刻まれた一日でした。元気を取り戻せたフェスティバルの今日のこのことを大切に秘めて、明日から頑張りたいと思います。

皆々様誠にありがとうございました。

重ねてお礼申し上げます。



ステージ企画では出演者だけでなく参加者の皆さんと一緒に避難元の音頭を踊りました。(写真は双葉町埼玉自治会によるふたば音頭)

送迎バスの実施 広域での交流にバスは必須でした

今回の「避難者と支援者による 2016 ふれあいフェスティバル」では、10 台のバスや車をチャーターして、それぞれの場所に集合してからの出発となりました。都内の電車事情に詳しくない方や自家用車を持っていない方も多く、こうした送迎バスによって多くの方にご参加頂くことができました。特に、今回は他県の避難者にも多く参加頂けるよう、山梨、千葉、埼玉の各県からもバスの送迎を実施しました。

No	ルート名	ルート
1	山梨ルート	山梨県甲府市労農福祉センター ⇄ 光が丘公園
2	松戸・三郷ルート	千葉県松戸市民劇場 ⇄ 埼玉県新三郷駅 ⇄ 光が丘公園
3	加須ルート	埼玉県加須市 ⇄ 光が丘公園
4	北上尾・さいたま新都心ルート	埼玉県 JR 北上尾駅 ⇄ 埼玉県さいたま新都心駅 ⇄ 光が丘公園
5	東大島・東雲ルート	江東区東大島駅 ⇄ 江東区東雲住宅前 ⇄ 光が丘公園
6	町田ルート	町田市中央公民館前 ⇄ 光が丘公園
7	三鷹ルート	武蔵野市緑町 NTT 武蔵野研究開発センターバス停前 ⇄ 光が丘公園
8	西東京ルート	西東京郵便局前 ⇄ 光が丘公園
9	中野ルート	鷺宮都営住宅自治会 ⇄ 光が丘公園
10	成増駅	成増駅前 ⇄ 光が丘公園

実行委員会 みんなで企画を作るため準備会含め 10 回の実行委員会を開催しました

このふれあいフェスティバルは、都内や近県で活動している避難当事者の団体と広域避難者支援連絡会 i n 東京に参加している支援団体で実行委員会を設けて、企画・運営に取り組みました。

5月から実行委員会を正式に立ち上げ企画検討を始めました。ふれあいフェスティバル実施後の11月まで計10回実施しました。



実行委員会の様子

ご協力いただいた皆さま 様々なご協力ありがとうございました

東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) / 株式会社セレスポ / NPO 法人 かながわ避難者と共にあゆむ会 / 埼玉
 広域避難者支援センター / ふうあいネット / 東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会 / ちば市民活動・市民
 事業サポートクラブ / 和光市社会福祉協議会 / 浪江町生活支援課・浪江町復興支援員 / 双葉町復興支援員 (ふたさぼ)
 / ぐるぐるユニット / 医療ネットワーク支援センター / 東京 YWCA / 立川・東日本大震災避難者を支援する会 / 連合
 東京ボランティアサポートセンター / (株) 大泉工場 / ふんばろう福島プロジェクト / 成増団地自治会 / 東京都社会
 福祉協議会 / 新宿区社会福祉協議会 / 江東区社会福祉協議会 / 品川区社会福祉協議会 / 世田谷区社会福祉協議会 /
 中野区社会福祉協議会 / 豊島区民社会福祉協議会 / 板橋区社会福祉協議会 / 練馬区社会福祉協議会 / 足立区社会福
 祉協議会 / 立川市社会福祉協議会 / 町田市社会福祉協議会 / 西東京市社会福祉協議会 / その他 多くの個人の皆さま
 そして参加して下さった 565 名の皆さま

会計報告 たくさんの方々から応援をいただきました

収入	決算額 (A)	予算額 (B)	差額 (B-A)	備考
助成金	¥2,491,791	¥2,270,000	-¥221,791	タケダ・赤い羽根支援プログラム助成金 東京都共同募金会
支援金	¥965,590	¥760,000	-¥205,590	東京労働者福祉協議会、全国労働者共済生活協 同組合連合会、中央ろうきん、金光教首都圏災 害ボランティア支援機構、災害復興まちづくり 支援機構、真如苑、NPO 法人フォトボイスプ ロジェクト、コープみらい、生活協同組合 パ ルシステム東京、渡和の会、東都生活協同組合、 生活クラブ生活協同組合、東京足湯プロジェク ト
総収入	¥3,457,381	¥3,030,000	-¥427,381	

支出	決算額 (A)	予算額 (B)	差額 (B-A)	備考
謝 金	¥55,685	¥80,000	¥24,315	運転手謝金
旅 費	¥1,231,110	¥920,000	-¥311,110	バス借用代等
会議費	¥84,000	¥130,000	¥46,000	実行委員会 開催費
印刷製本費	¥243,008	¥240,000	¥3,008	チラシ、報告書作成費
業務委託費	¥1,698,924	¥1,590,000	-¥108,924	会場設営代等
物品購入費	¥116,898	¥60,000	-¥56,898	報告書作成費
予備費	¥27,756	¥10,000	-¥17,756	振込手数料等
総支出	¥3,457,381	¥3,030,000	-¥427,381	



※この事業は、タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム、東京都共同募金会の助成金、真如苑、中央ろうきん社会貢献基金、全労済、金光教首都圏災害ボランティア支援機構、東京労働者福祉協議会等の支援金を受け実施しました。